

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2025年3月9日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌527「わが喜びわが望み」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美		一 同
教会学校	絵本「生まれ変わったパウロ」	牧 師
讃 美	讃美歌270「信仰こそ旅路を」	一 同
聖書朗読	使徒行伝15:36-41	
奨 励	使徒行伝の福音(第54回)	牧 師
主 題	「ナンデ、こんな時に？」	
讃 美	讃美歌296「試みの嵐」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌541「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創世記第 46,47 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

3/9(日)聖日礼拝
/10(月)
/11(火)
/12(水)
/13(木) 牧師*リッパへ出発(〜28)
/14(金)
/15(土)



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 牧師の旅の安全のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「家族共同体の健康性」

(堀肇「教会ジャーナル」2004年冬号より)

人間の悩みの多くは関係を巡るものであり、心病むというのもその病理の本質は関係が病むということと言ってもよいほどです。とりわけ家族関係というものは円滑に機能していれば家庭が心の居場所になりますが、関係が病み機能不全となると、そこは非常に煩わしい所ともなってしまいます。

家族というものは一体として存在していますが、それは静的・固定的なものではなく絶えず互いに影響しあいながら揺れ動いているということ、しかも揺れながら一定の平衡を保とうとする特徴を持っています。たとえば、人は結婚すると、それまでの個人の生活習慣をそのままにして結婚生活をすることはできません。互いの違いを調整して新たなバランスを取らざるを得なくなります。さらに子供が生まれると、二人だけで保ってきた平衡は崩れ、時間の使い方や食生活なども子供を加えた形でバランスの取り直しを求められます。それはモビールを想像していただければよく分かります。一カ所を動かせば全体が揺ることになりますが、揺れながら元に戻ろうとします。家族もそうなのです。

ですから、たとえば子供が問題を抱え心の闇の中を苦しみ歩んでいるような場合、それはその闇とも蔭とも言い得るような部分を、彼等は親に代わって苦しんでいるというようなことなのかもしれません。これは家族を体として見ていくと分かってくるように思います。

このように考えると、家族の中で問題を持っている人というのは、一見面倒な存在に見えても、実は家族にとって大切な存在であって、特に家族の平衡の取り方に無理が出てきているのを教えてくれているような存在なのです。もっとはっきり言えば、彼等の存在は家族共同体の健康性の維持と成長のために一つの役割を果たしていると言えるのです。これはパウロも「身体の中で比較的弱いと見られる器官が、かえってなくてはならないもの」(1コリント12:22)と語っているとおりです。